

環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会
(事務局: 気候変動対策認証センター) 御中

平成 23年2月15日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名						
埼玉県もくねん工房の木質ペレットを活用した化石燃料代替プロジェクト						
GHG 検証機関						
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。						
機関名	SGS ジャパン株式会社					
担当部署名	認証サービス事業部 サステナビリティサービス部					
責任者名	マネジャー 西 利道					
責任者 E-mail	Toshimichi.nishi@sgs.com					
責任者電話番号	045-330-5021					
審査員名 ¹	茅 博司(チームリーダー) 都倉 知宏(チームメンバー) 西 利道(レビュー担当者)					
機関要件への合致	暫定的な妥当性確認・検証機関としての要件を満たし、暫定妥当性確認・検証機関としての登録を受けている。また、ISO14065 に関わる認定の申請を日本適合性認定協会へ提出し、受理されている。					
検証報告書発行日	平成 23 年 2 月 15 日					
検証結果						
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドラインVer.1.2					
検証期間	2008年4月1日 ~ 2010年8月31日					
現地審査	■ 有 □ 無	期間	2010年10月18日 ~ 2010年10月19日			
	審査内容	① プロジェクト計画書、モニタリングプラン、モニタリング報告書、モニタリング報告書別紙、及び各種付属文書類の現場審査前のレビュー ② 現場におけるサイトツアー、関連プロセス及び設備の確認、担当者へのインタビュー、及び各種文書類記載内容との突合、などを通じ、検証を行った。				
排出削減・吸収量	年度	2008(4月~)	2009	2010(~8月)	2011	2012
	t-CO2	327				



<p>検証結果の要約</p>	<p>SGSジャパン株式会社は、「埼玉県もくねん工房の木質ペレットを活用した化石燃料代替プロジェクト」を対象としたモニタリング期間(2008年4月1日～2010年8月31日)における、CO2排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、「オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトモニタリング報告書Ver3.0(2011年1月7日)」「モニタリング報告書(別紙)Ver.3.0を含む)に記載された二酸化炭素排出削減量327t-CO2は、「オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト申請書Ver.2.0(2010年12月24日:変更申請後のもの)」及び申請書別紙モニタリングプランVer.2.2(2010年12月24日:変更申請後のもの)に基づいて算定されていた。また、重要性の判断基準との対比では、誤りの合計値が0.03t-CO2(二酸化炭素排出削減量に対する割合:0.01%)となり、重要性の判断基準の5%未満である。また、当該プロジェクトは、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用)、排出削減ポジティブリスト・方法論(E002・JEAM002)に依拠して作成されており、全ての重要な点において適正であると認める。</p> <p>なお、本検証プロセスの現地審査の過程において、保守的ではない排出源の特定漏れ、モニタリングパターンの誤りなどが検出されたため、現地検証は現状の状況において継続したが、その後のプロセスは一時中止した。事業者から、プロジェクト計画の変更申請が事務局に対して行われ、モニタリングプランの変更(保守的な仮定を採用)をもって承認され(2010年12月24日付)、排出削減量の検証を再開することとなった。検証チームは修正版のモニタリングプラン、モニタリング報告書(含別紙)、及び関連文書において、前記モニタリング関連の不備が修正されていることを確認すると共に、修正後の書類及び現地検証を元に検証を行っている。</p>
----------------	--

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。